

長崎北高
「ふるさと教育」への
協力について

長崎における 空き家対策問題



今回、長崎北高校からの依頼で、長崎を支える人材の育成教育として、新入生の方たちに講演を行いました。テーマは【長崎における空き家対策問題】ということで、全3回にわたって行っています。

1回目
4/27(木)

- 各20名で3つのグループにそれぞれ20分間講演を行いました。内容は、空き家とはどういうものか、長崎には空き家がどれくらいあるのか、空き家の何が問題になるのかについて話をしています。

2回目
5/18(木)

- 第1回目の講演で、空き家対策に興味をもたれた約20名の生徒の皆さんに、第1回目の内容を深掘りして話を行っています。問題がある空き家になる原因や、対策について話をし、次回への課題としてある物件をもとに、どのような対策があるのかをみんなで検討してもらうという課題を出しています。

3回目
7/6(木)

- 実地研修を行う予定で、実際の空き家なり、空き家を再生した物件なりを案内し、生徒の皆さんに空き家問題を肌で感じて頂くように考えています。

今回のレジュメを作成するにあたり、改めて空き家問題について調べたところ、長崎市の人口は45万人程から昨年初めて40万人を下回っています。また、空き家も増え続けており利用予定のない空き家が15,000戸、特定空き家も560戸ほどあるようです。今回の講演で少しでも

生徒のみなさんが、空き家問題、人口減少について意識を高め将来の長崎の発展に寄与していただけたらと願っています。

情報提供委員会 副委員長 泉 直幸

